

英語科学習指導案

学校名 海南省立東海南中学校

指導者 T1 前山 裕亮

T2 津田 真由美

- 1 日時 平成28年9月30日(金) 5限(13:25~14:15)
- 2 場所 選択4教室
- 3 学年・学級 3年B組(男子13名、女子9名 計22名)
- 4 単元名 Unit4 To Our Future Generations (New Horizon English course3)

5 単元について

(1) 教材観

本単元は、英文の避難訓練のお知らせ、防災に関する登場人物の対話、さらに被災地の流木で製作されたバイオリンと、その演奏リレーについてのエピソードから成る教材である。万一災害が起きた時には、その場にいる人が相互に助け合う必要があり、そこで英語が必要になることも十分に想像できる。また、本題材をきっかけに、先年の大震災のその後について外国の人にたずねられた時、過去の出来事や現在の様子、自分の考えていることなどを表明できるようにさせたい。

(2) 生徒観

授業態度は真面目であり、私語や落ち着きのない行動は見られない。グループやペアの活動ではお互いで教え合うことができている。学習に対する基本的な姿勢は身についているのだが、既習事項が定着しておらず、1年生の内容からつまづきを感じている生徒もいる。また、頭の中に自分なりの答えを持っていたり、人前で間違えるのを恐れている傾向があり、積極的に発言することができない生徒が多く、決して前向きとは言えない。そこで、新出文法を身に付けさせることを第一目標とし、ペアやグループを組ませて学ぶ学習形態が効果的ではないかと考える。

(3) 指導観

ここで学ぶ新出文法は、「疑問詞+不定詞」と「It is ... (for+ (人)) +不定詞」と「want + (人) + to + 動詞の原形」である。生徒たちは1学年で疑問詞を、2学年で不定詞の学習を終えたが、これらの文法は意味や用法が文章によって変化するために混乱しやすく、定着していない生徒が多く見られる。そのため新出基本文の構造と意味をしっかりと理解して、それを用いて自己表現できるように指導することが必要である。またデジタル教科書を用いて授業のUD化を図り、既習事項についても授業時間内で復習し、定着をさせることで新しい学習内容を理解する上での素地となるよう実施したい。

(4) 授業のUDの視点

- ・デジタル教科書のマスキング、カラーリングを活用し、教科書本文のコーラスリーディングで、単語を正確に発音できるようにする。(vi)
- ・画像を用いて、イメージで語句を捉える。(sh)

6 単元の目標、評価規準、指導計画

(1) 目標

- ・やり方やすべきことについて述べることができる。
- ・人にとって必要なことや難しいこと、人にしてほしいことを述べることができる。
- ・自分や友達について様々な情報をたずねたり伝えたりすることができる。

(2) 評価規準

	ア コミュニケーション への関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化について 知識・理解
聞く こと			①絵やグラフを参考に緊急放送などを聞いて、内容やアンケート結果を聞き取ることができる。	
話す こと	①自分や友達に関するさまざまな話題について積極的に対話をしている。	①自分にとって簡単なことや難しいことなどについて述べるができる。		
読む こと			②本文を読み、内容を正しく読み取ることができる。	
書く こと		②自分や友達について、様々な情報をたずねたり伝えたりすることができる。		①文構造や文法などに関する知識を身につけている。

(3) 指導計画

	指導内容	評価規準
第1時	疑問詞＋不定詞の形・意味・用法を理解することができる。 Starting Out の内容を理解する。	エー①、ウー② 観察・ノート
第2時	It is … (for＋(人))＋不定詞の形・意味・用法を理解することができる。 Dialog の内容を理解する。	エー①、ウー② 観察・ノート
第3時 (本時)	Read and Think 1 の内容を理解する。	ウー② 観察・ワークシート
第4時	want＋(人)＋to＋動詞の原形の形・意味・用法を理解し、表現する。 Read and Think 2 の内容を理解する。	エー①、ウー② 観察・ノート
第5時	疑問詞＋不定詞について復習し、理解を確かめる。	エー① ワークシート
第6時	It is … (for＋(人))＋不定詞について復習し、理解を確かめる。	イー① 観察・ワークシート
第7時	Activity 1 の内容を聞き取る。 既習事項の復習をし、理解を確かめる。	ウー① 観察
第8時	Activity 2 を行い、様々な情報をたずねたり伝えたりする。	アー①、イー② 観察・ワークシート

7 本時の目標と評価規準

(1) 目標

- ・語句や文法事項などの知識を活用して、P. 62 (Read and Think 1) の本文の内容を理解することができる。

(2) 評価規準

- ・本文を読み、内容を正しく読み取ることができる。〈読むこと（外国語理解の能力）〉

8 本時の展開

	生徒の学習活動	指導者の活動と指導上の留意点等 UDの視点（シンプル [si] ビジュアル[vi] シェア [sh]）	評価方法 ※評価規準
導 入	<ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶をする。 曜日・月日・天気を答える。 ペアでQ&Aをして、既習事項を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の授業が始まる雰囲気をつくる。 T1、T2で机間巡視を行い、1ペアずつ確認する。つまづいているペアを支援する。（読み方を教える。ヒントとなる単語を教える。文法の誤りを教える。） 	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> 震災流木のバイオリンの映像を鑑賞する。 ピクチャーカードを見て、説明を聞く。 めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンに映像を映し出す。(vi) デジタル教科書のピクチャーカードを映し、画像に関する簡単な説明をする。(vi) <ul style="list-style-type: none"> ○バイオリンの画像を映す The musician plays the violin. This violin is very special. It was made from driftwood. ○流木の画像を映す A famous violin maker, Nakazawa Muneyuki made it. Today, we are going to study about the violin. 本時のめあてを提示する。 	
() にどんな意味が入るか見当をつけて本文を読む			
	<ul style="list-style-type: none"> モデルリーディングを聞き、教師のあとに続いて音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書の本文を映す。(5か所空欄) (vi) モデルリーディングを行う。(si) ※スラッシュリーディング(文の途中に区切りを入れて読む)で音読させる。 	

<p>展</p> <p>開</p>	<p>・スクリーンに映された本文中の（ ）に適切な語を答える。</p>	<p>・画像や教師の質疑応答により、本文の内容理解につながるヒントをだす。</p> <p>・答えはワークシートに書かせる。</p> <p>①を推測させるためのヒント</p> <p>March の日本語の意味を生徒にたずねる。</p> <p>audience－画像を見せる。</p> <p>sound－対話を聞かせる。</p> <p>(T1: I want to listen to sound of tambourine.)</p> <p>(T2: OK.)</p> <p>tears－画像を見せる。</p> <p>発問</p> <p>Fill in the blank No.1 in English.</p> <p>(手だて)</p> <p>空欄のあとに were in tears. が続くので、人が入るということに気づかせる。</p> <p>②を推測させるためのヒント</p> <p>There の具体的な場所をたずねる。</p> <p>発問</p> <p>Fill in the blank No.2 in English.</p> <p>(手だて)</p> <p>本文中に使われている語ということを知らせる。</p> <p>③を推測させるためのヒント</p> <p>maker－動詞のうしろに er をつけて名詞になる例をあげる。</p> <p>(I teach English.</p> <p>I am an English teacher.)</p> <p>発問</p> <p>Fill in the blank No.3 in English.</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>※ウー②</p>
-------------------	-------------------------------------	--	-------------------------------------

9 板書計画

Friday, September 30, sunny

☒あて () にどんな意味が入るか見当をつけて本文を読む

earthquake 地震

craftsperson 職人

come up with～ ～を思いつく

driftwood 流木

disaster 災害

Read and Think1 P. 62

New Words

closely 副 じっと、一心に

tear 名 涙

maker 名 製作者

wonder 動 ～だろうかと思う

craftsperson 名 職人

driftwood 名 流木

in tears 涙を流す

come up with ～を思いつく

On March 11, 2012, there was a special violin
[redacted] in the city of Rikuzentakata. The
audience listened closely to the [redacted] of the
violin. Some of the people were in [redacted]. That
violin was very [redacted] to everyone there.

The violin was made by Nakazawa Muneyuki, a
famous violin [redacted]. After the earthquake hit Japan
in 2011, he wondered [redacted] to help as a craftsman.
Then he [redacted] up with an idea. It was to make violins
from [redacted] from the disaster.

質問	答え方	チェック欄					
What day is it today?							
What did you do yesterday?	I _____ yesterday.						
What is your favorite sport?	My favorite sport is ().						
How do you come to school?	I come to school ()() I () to school.						
Do you often listen to music?	Yes, I (). / No, I ().						
Who is your science teacher?	My science teacher is ().						
How many CDs do you have?	I have () CDs. I don't have any CDs.						
Does Ichiro play baseball well?	Yes, he ().						
What time did you get up this morning?	I () up at () this morning.						
What time did you go to bed last night?	I () to bed at () last night.						
Where do you live?	I live in ().						
Did you study English last night?	Yes, I (). / No, I ().						
What is your phone number?	My phone number is ().						

☆ Fill in the blanks from No.1 to No.5.

① ()

② ()

③ ()

④ ()

⑤ ()

映は、新聞で読んだあるバイオリンの話を、リカルドに伝えることにしました。
 ④ どんなバイオリンなのでしょう。

語句

- ☑ closely [klóusli]
- ☑ tear(s) [tiər(z)]
- ☑ maker [méikər]
- ☑ wonder(ed) [wándər(d)]
- ☑ craftsperson [kráftspə:rsn]
- driftwood [driftwüd] 流木
- ☑ in tears
- ☑ come up with

Points

- ① 4行めのthe peopleを2語で言いかえるとどうなりますか。
- ② 9行めのItは何をさしていますか。

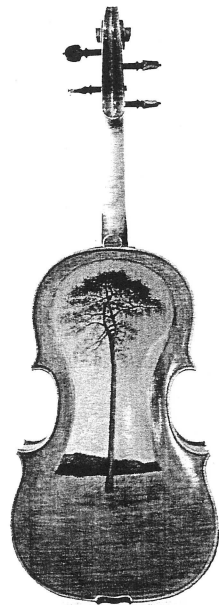
On March 11, 2012, there was a special violin performance in the city of Rikuzentakata. The audience listened closely to the sound of the violin. Some of the people were in tears. That violin was very special to everyone there.

The violin was made by Nakazawa Muneyuki, a famous violin maker. After the earthquake hit Japan in 2011, he wondered how to help as a craftsperson. Then he came up with an idea. It was to make violins from driftwood from the disaster.

[83 words] 10



約7万本の松林の中で唯一残った「奇跡の一本松」とその前で献奏する世界的奏者イブリー・ギトリス



Q&A

① Was the performance given in 2011?

② Who made the violin?

③ What was the violin made from?

Think

● 中澤宗幸さんがこのバイオリンを作ろうと思ったきっかけは何だと思いますか。

中澤宗幸さんへのインタビュー

Q : How did you come up with the idea of making violins from driftwood?

A : My wife said, "That driftwood is full of memories and history."

被災地の流木についてのニュースを見ていたとき、バイオリニストの妻が「いろいろな家族の思い出や歴史がつまったあの木から、バイオリンを作れないか」と言ったのです。それがきっかけでした。

Q : How did you feel while you were making the violins?

A : I felt like I was having a conversation with the wood.
 対話

集めたマツやカエデの木材は、以前は家の梁や床に使われていたようです。人々の記憶を知る木に語りかけ、木の思い出を聞いて、対話をしながら作り上げました。



流木の山から木材をさがす

